

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	大津市立ひえい平保育園（やまのこひろば）
代表者氏名（管理者）	園長 桜井 人美
法人名	大津市
定員（利用人数）	60名
施設・事業所所在地	滋賀県大津市比叡平1丁目45番3号
T E L	077-529-2700
F A X	077-529-2700
電子メール	otsu1417@city.otsu.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.otsu.lg.jp/kosodate/yoho/hoiku/1390783782148.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和2年12月4日

3 評価の概要

○ 総合評価

ひえい平保育園は昭和49年7月に大津市立の保育園として開設されました。大津市中部、比叡山中腹の京都市と大津市の境に位置する比叡平地域に位置しています。周囲を比叡の山々に囲まれた、自然豊かな環境に恵まれた住宅地に設立された保育園です。近年の少子高齢化の影響により、幼稚園児数の減少、保育園園舎の老朽化という課題の解決策として、平成24年4月より「幼保一体化施設やまのこひろば」として新たに開設しました。その後、保育園・幼稚園の一体的施設の特徴を活かした園づくりを目指し、職員・保護者・地域住民の協働のもと、子どもたち一人ひとりの主体性を大切にしたい園の運営に努めています。

「やまのこひろば」では、幼保一体化の利点や同じ敷地に小学校や「どんぐりの森」の在る環境を活かし、幼・保・小一体の交流や地域住民や地域の多様な機関・ボランティア団体等と連携して、比叡平地域の子育てネットワークの中心的役割を担い、幼保一体化施設として8年間の実績や専門性を活かした子育て支援や地域活動等へ積極的に参加しています。地域のニーズを受けて、園長を筆頭に全職員が園の保育・教育方針に基づき、「やまのこひろば」の目標達成に向けてマネジメントサイクル（PDCA）を通して継続的な検討・見直しを行い、保育内容の維持向上を図っています。その取り組みの様子が日々の実践記録や広報誌、職員ヒアリング、保護者アンケートの結果等から伺えました。今後も、幼保一体化保育、障がい児保育、子育て支援等の実践を通じて、「やまのこひろば」が目指す『人や自然に関わって心豊かに生き生きと生活する子ども』を育む保育を実践されることを期待します。

○ 特に評価の高い点

①子どもの主体性の尊重と成長過程に沿った保育

幼稚園と保育園の一体化施設の利点を日々の保育に活かしています。同じクラスで幼・保園児を保育することで、子ども同士の言葉遣いや子ども同士（異年齢）のコミュニケーションによる社会的ルールの学び、みんなで共同して一つの作品を作る過程での学び、遊びを中心に据えた「もりもりタイム」、昼からの「ゆったりタイム」「ゆうやけタイム」など子どもの1日の生活リズムを捉えた園での生活等、様々な工夫を行い、子どもの成育に応じた保育を行っている様子が窺えました。また、職員は幼稚園のノウハウを保育へ反映できることもメリットだと思われます。図書の読み聞かせの時には、丁寧にストーリーの内容を説明することで子どもに印象付けたり、子どもの言葉だけでなく表情や見た目を大切にして、子どもの思いを聞き取るよう努めています。

② 地域住民・関係機関等との交流と災害対策

同じ敷地内の小学校や地域の老人クラブ、ボランティアグループ等との交流、地域住民や関係機関との連携（年3回の協力者会議等）が日常的に行われています。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため夏祭りや運動会など、広く地域の人達の参加は叶いませんでしたが、例年、「やまのこひろばだより」を地域へ回覧したり、掲示板に張り付けたりして地域住民との交流を活発に行っています。結果として、比叡平地域の中で「やまのこひろば」の存在感が増し地域の子育ての中核施設として認められています。また、比叡平が山の中腹にあるという特徴から地域全体での防災意識は高いと思われます。保育園は福祉避難所に指定されており、隣の小学校との連携、3日分の水タンクや備蓄庫の設置、防災の日のシェイクアウト訓練への参加、保護者会での地域防災対策の話合いなど、積極的に災害に対する備えに取り組んでいます。

③保護者とのコミュニケーションの充実

園は保護者から信頼を得ていることが保護者アンケートより把握できました。「えんだより」・「クラスだより」による情報提供、定期的な保護者懇談会や公開保育、保護者面談等により、子どもの成長に伴う課題や悩みを共有できるようにしています。また、送迎時の保護者との会話、日々の連絡帳の活用、玄関先の各種掲示ボードなどにより保護者との信頼関係を深めるよう配慮し、コミュニケーションから得た保護者の意向を保育実践に反映させています。保護者アンケートの自由記述欄コメントからも園の保育の取り組みへの感謝の言葉が多数読み取れました。

○ 改善を求められる点

①職員の就労状況の改善

市立の幼保一体化施設ということで、市が策定した就業規則に則って労務管理は確実に行われている。職員ヒアリングにおいても「人間関係も良く相談しやすい職場です」との返答でした。しかし、小規模施設で職員数が少ないことから、1人が担う役割が多くなることもある。1人担任のクラスにおいては記録や行事準備等の時間確保が難しくなるという課題もあり、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境づくりに向け、職員と一緒に検討されることを望みます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価を受け、自園を客観的に捉え評価をいただきました。大津市公立園では珍しい幼保一体化施設の特徴を生かした保育について、また、地域性を活かした保育の実践について、さらに現在力を入れている保育の質の確保の一環として取り組んでいる「保育の見える化」に関して、公立保育園としての役割を十分認識した上での保育運営、保育内容であると判断していただき、職員一同、日頃の努力が認められた気持ちでうれしく思っております。

ご指摘いただいた、苦情解決の内容と解決策の保護者へのフィードバックについては、個人情報に配慮しつつ、利用者の安心のために必要な事柄につきましては「見える化」し改善していきたいと思っております。

子どもを真ん中において、保護者、地域の方々と共に、子どもたちの最善の利益を考え、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たすべく尽力したいと心新たにいたしました。

ありがとうございました。